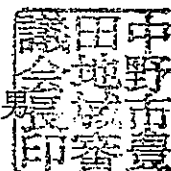


平成 26 年 11 月 20 日

中野市長 池田 茂 様

中野市豊田地域審議会
会長 原田 孝男



豊田地域審議会意見書 ～将来を見据えたまちづくりのために～
の提出について

向寒の候、貴職におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申しあげます。平素、行政施策の推進に尽力いただいていることに敬意と御礼を申し上げます。さて、当審議会は、発足から 10 年の平成 27 年 3 月 31 日をもちまして、設置期間の満了に伴い終了しようとしております。

そこで、これまでの活動を振り返るとともに、豊田地域の現状と本市の将来を見据え、今後とも、豊田地域の振興と本市の一体的発展のために必要なことについて協議し、意見書として取りまとめました。

つきましては、市の施策に反映させていただきたく、中野市及び下水内郡豊田村の廃置分合に伴う地域審議会の設置に関する協議書第 3 条第 2 項に基づき提出いたします。

豊田地域審議会意見書

～将来を見据えたまちづくりのために～

平成 26 年 11 月

中野市豊田地域審議会



〔はじめに〕

平成 17 年 4 月に旧中野市と旧豊田村が合併して新中野市が誕生し、10 年が経過しようとしております。その間、目まぐるしく変化する社会、経済情勢の中、複雑多様化する行政需要に堅実に対処しながら、新市の一体感の醸成に努め、市民生活の安定・向上に向けて尽力いただいていることに敬意を表します。

豊田地域審議会におきましても、市長から「新市まちづくり計画」の変更についての諮問に対する答申を 2 回、また、研修視察や委員による意見交換を重ね、「豊田地域の振興に関する意見書」を市へ 3 回提出するとともに、合併後の地域住民の不安の解消と豊田地域の振興、中野市全体の発展のために協議し意見を述べてまいりました。

今回、合併 10 年の節目をむかえるに当たり、地域の現状と本市の将来を見据え、豊田地域審議会のこれまでの活動を振り返るとともに、地域における事業の進捗について検証を行ってまいりました。そして、今後とも、豊田地域、中野地域にかかわらず、本市が一体的に発展していくことを願い、意見を申し上げるものです。

〔総論〕

国文学者である高野辰之が作詞した唱歌“故郷”に歌われている里山の原風景は、本市が誇る恵まれた自然環境であり、ここに住む人たちは、この四季折々に美しい景色を醸し出す豊かな自然を大切に育んできました。

そして、この恵まれた自然のもと、りんごや桃、ぶどうなどの農業を基幹産業とし、また農産加工品等を開発、販売し発展してきました。

しかしながら、本地域においても全国的な動向と同じく、少子高齢化が進展し、農業の後継者不足や小中学校の適正規模と適正配置の検討、地域防災体制の整備など、市民生活に影響を及ぼす問題が生じております。また、恵まれた自然環境であると同時に、水害等の自然災害への不安がぬぐえない状況であります。

これらの現状を踏まえて、豊田地域の振興と中野市全体の発展を考えると、この恵まれた自然環境を保全・活用し、農業と地場産品を育成して観光施策と連携することで地域経済の振興を図ること、そして、道路、交通機関を整備し、かつ災害に対する防災体制の一層の整備を推進することで、安全に安心して暮らせるまちづくりを進めることが必要であると考えます。

また同時に、本市の未来を見据えた場合、少子高齢化問題に対して人口定住施策を推進するとともに、子どもたちの成長と教育へ十分配慮することも重要であります。

豊田地域、中野地域それぞれが長所を活かした特色あるまちづくりを推進し、生まれ育った地域への愛着とそこに住む人たちとの絆を大切にし、安心して暮らせる住み良い地域づくりを進められるよう願うものであります。

〔現状・課題と振興に関する提言〕

1 地場産業の育成と観光振興

◆ 現状・課題

- ・豊かな自然に恵まれた本市は、果樹栽培など農業を基幹産業として発展してきました。また、農産加工品を地場産品として販売し好評を得ておりますが、販路については十分確立されているとは言えない状況であります。
- ・まだらおの湯やもみじ荘などの温泉施設、道の駅ふるさと豊田、そして美しい自然環境などの地域資源は観光資源として有益なものであります。
- ・JR 飯山線の替佐駅と上今井駅の二つの駅は、本市への玄関口となるものであります。
- ・本市には JA 中野市と JA 北信州みゆきの二つの農業協同組合があり、それぞれの組合が農業に係わる取り組みを行っています。

▼ 提言

- (1) 地場産業の育成、振興は市の地域経済を強化する上で重要なものであります。りんごや桃、ぶどう、ぼたんこしょうといった農産物と、アップルパイ、おやきや味噌などの農産加工品の消費拡大を図るため、道の駅ふるさと豊田など、既存の販売網での販売促進を図るとともに、広域的な観光振興施策と連携し販路拡大施策を推進されたい。また、同時に温泉施設や自然環境などの地域資源、そして JR 飯山線の替佐駅と上今井駅を活用し、広域的な観光の振興を図られたい。
- (2) 地場産品を広く販売していくためには、全国的に認知されるような質の高いブランド商品の開発が必要と考えます。そのための事業者に対しての支援をお願いするものであります。
- (3) 本市にとって農業は基幹産業であり、市の経済基盤を支える重要なものであります。そのため、農業が継続的に行えるよう、千曲川沿いの無堤地区の築堤整備を強力に推進されたい。
- (4) 地場産品の育成にあたっては、既存組織の枠組みにとらわれず、生産者が必要に応じて柔軟な取り組みができるよう協力いただきたい。

2 防災体制及び道路網の整備

◆ 現状・課題

- ・千曲川が流れ、周囲を高社山、斑尾山などの山々で囲まれた本市は、自然災害と常に隣り合わせの地形であり、冬の雪害対策や、とりわけ大きな心配として水害や土砂災害の問題があります。
- ・豊田地域と中野地域は千曲川をはさみ東西に分かれる地形となっており、両地域を直接つなぐ道路は上今井橋のみであります。また、部分的に整備され

ている道路もありますが、全体的な道路整備が遅れていると感じます。

- ・地区によっては指定されている避難施設が非常に遠く、有事の際に避難施設として機能するか不安があります。

▼ 提 言

- (1) 各区が適切な防災体制を整えられるような行政の指導と避難施設の適正な整備をお願いしたい。同時に、豊津、上今井、永田地区など水害や土砂災害の心配のある地域に対して、住民が安心して生活できるよう、総合的に判断して整備を図られたい。特に上今井の本沢川の内水処理の解消に努められたい。
- (2) 市全体の均衡ある発展、そして災害時に迅速かつ適切な対応をとるためには、道路網が機能的に整備されている必要があります。一般県道の三水中野線、牟礼永江線、南永江替佐停車場線及び主要地方道飯山妙高高原線の整備、そして、国道117号（替佐静間バイパス）及び一般県道豊田中野線（笠倉壁田橋）の開通について早期実現を図るとともに、志賀中野有料道路の無料化など代替措置を検討されたい。

3 自然環境の保全と活用

◆ 現状・課題

- ・高野辰之が作詞した唱歌“故郷”にうたわれている自然豊かな原風景は、本市が誇る財産であり、地域住民にとっても心の拠りどころであります。しかしながら近年は、自然環境の破壊につながる危険性もある産廃処理施設の建設計画や、水資源にかかる不明瞭な土地買収なども懸念されております。
- ・千曲川や中小河川が流れ起伏に富んだ地形は小水力発電に適しており、また、公共施設や遊休荒廃農地等においても太陽光発電が可能と考えます。

▼ 提 言

- (1) 美しい自然は一度破壊されてしまえば取り戻すことは非常に困難であります。国、県や近隣市町村と連携して、環境破壊につながるおそれのある行為に厳しく対応し、自然環境の保全に努められたい。
- (2) 緑豊かな故郷の自然を子たちに受け継いでいけるよう、童謡唱歌の里づくりを推進されたい。
- (3) 自然エネルギーの活用について検討し、将来的には地域全体に普及できるような施策を推進されたい。

4 人口減少・少子高齢化に対する取り組み

◆ 現状・課題

- ・豊田地域には65歳以上の人口が50%以上を占める限界集落もあり、とりわ

- け農業者の高齢化、後継者不足は大きな問題であります。
- ・少子化により地区の催しに支障がでるなど、地域の賑わいがなくなっていくことが心配されます。
 - ・小中学校の適正規模と適正配置など、子どもたちの成長に影響を及ぼす可能性がある問題が検討されております。
 - ・豊田地域を運行するバスは親川と信州中野駅を結ぶ永田線が1日8往復、豊田地域内のみを運行するふれあいバスが1往復半であり、公共交通機関の利便性が低い。
 - ・空き家バンク制度は移住、定住促進の有効な手段のひとつではありますが、施策が効果的に行われていないと感じます。

▼ 提言

- (1) 基幹産業である農業の後継者の育成施策を図りたい。
- (2) 地域の賑わいを創出するためには、若い世代が定住し、子どもを育てていける環境が必要であります。そのためには、積極的なIターン、Uターン施策を行い、人を呼び込む事業を推進されたい。
- (3) 小中学校の適正規模と適正配置の検討については、子どもたちの健やかな成長に配慮するとともに、保育園も含め地域コミュニティの基盤としての役割を鑑み、地域住民の声を聴き、地域住民の意見を尊重し対応していただきたい。
- (4) 高齢者や免許を持たない人たちの移動手段として、交通機関の利便性の向上を図りたい。
- (5) 空き家の活用については、空き家の現状把握等の情報収集に努め、効果的な推進に努められたい。

5 住民主体の協働による地域振興への取り組み

◆ 現状・課題

- ・豊田地域では区長が中心となり、桜並木の手入れや城址整備、蛍の保護活動など、住民の繋がりを大切にしながら、地域の景観整備と地域づくりを行っています。しかしながら、地区ごとの取り組みが、市全体として広くつながりを見せていないのが実情であります。
- ・JR 飯山線駅の無人化や長電バスの路線見直しなど、住民生活に密接にかかわる問題について、情報が市民へ伝わってくるのが遅いと感じます。

▼ 提言

- (1) 住民一人ひとりが手間を惜しまず参加して作り上げたものが広がりを持ち、市全体として住民の絆の醸成とまちづくりへつながることで、さらなる地域振興が期待できます。そのために、地区ごとの取り組みが有機的につながり、効果的に市全体に波及するよう、事業推進をお願いするものであります。

- (2) 市民生活に密接に係わる問題について、地域住民がいち早く知ることで地域の問題に取り組むことができるものであります。迅速な情報提供に努められ、地域住民との行政情報の共有を図られたい。

6 地域拠点としての豊田支所のあり方について

◆ 現状・課題

- ・豊田支所は地域住民の日常生活の基盤であると同時に、地域課題への迅速な対応と地域振興の拠点としての役割を担う施設であります。とりわけ豊田地域は自然災害の危険と常に隣り合わせであるため、地域防災拠点として大きな役割を果たしています。
- ・豊田支所は合併当初6課12係制でありましたが、平成20年度からは1課3係制となり職員数も減少しています。そのため、身近な行政サービスの低下、地域課題の把握の遅れ、災害対応力の低下等が懸念されます。

▼ 提言

- (1) 地域防災をはじめとした地域を取り巻く様々な問題に対して、住民と行政が協働して取り組んでいくためには、拠点施設としての豊田支所の役割はたいへん重要であり、その機能の充実が必要不可欠であると考えます。